令和５年度　第８回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出　　席　　者	
令和５年11月10日（金） 午後２時００分 ↓ 午後３時４０分 第２研修室	教　育　長　坂 元　裕 人 教 育 委 員　田 原　正 人 教 育 委 員　葛 迫　幸 平 教 育 委 員　田之上　厚美 教 育 委 員　福 里　由 加	教育総務課長　堀 留　豊 学校教育課長　川 﨑 史 明 社会教育課長　大 山　昭 国体推進課長　米 田 昭 嗣

会　議　要　旨

1　開　会
　定刻、定足数に達しており、令和５年度第８回教育委員会定例会を開会した。

2　令和５年度第７回定例会会議録の承認について
　承認

3　議　事
　議案第 18 号　令和５年度社会教育功労者の決定について
　議案第 19 号　垂水市教育支援委員会答申について
　議案第 20 号　垂水市立小・中学校の職場におけるハラスメント防止に関する指針について

4　その他

5　委員並びに教育長及び課長報告

6　閉　会

議　決　事　項

件　　　　　名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第18号 　令和５年度社会教育功労者の決定について	令和５年度の社会教育功労者について、教育委員会会議の議決を求めるものである。		
議案第19号 　垂水市教育支援委員会答申について	垂水市教育支援委員会の答申の内容について、教育委員会会議の議決を求めるものである。	非公開審議	
議案第 20 号 　垂水市立小・中学校の職場におけるハラスメント防止に関する指針について	垂水市立小・中学校の職場におけるハラスメント防止に関する指針について、教育委員会会議の議決を求めるものである。		

議 事 内 容 等

３　議　事	
	議案第 18 号 **令和５年度社会教育功労者の決定について**
社会教育課長	令和５年度社会教育功労者の選出理由について説明。
	議案第 19 号 **垂水市教育支援委員会答申について**
学校教育課長	（非公開）
	議案第 20 号 **垂水市立小・中学校の職場におけるハラスメント防止に関する指針について**
学校教育課長	同指針の目的及び内容について説明。

４　その他	
教育総務課長	**総合教育会議の開催について** 総合教育会議については、協議題を教育振興基本計画の見直しとし、来年１月の開催を目標に準備を行っていることを説明。
学校教育課長	**文書訓告事案の報告** （非公開）
社会教育課長	**垂水市こども読書活動推進計画の現状報告** 同計画の策定進捗状況について報告。
５　委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	10月17日、垂水小学校の学校訪問でした。校長先生の細部にわたる説明で今年度の学校経営の意気込みが伝わってきました。伝統ある大野の演習林活動に加えて、稲づくり体験活動などＰＴＡを巻き込んでなされていることに感心しました。これまでの国語や英語の研究成果の上に、今年度からの教科担任制による算数科の研究が実り、成果が出てくることを期待したいと思いました。全体的にどのクラスも活発で教師と児童の対話が良くなされ、反応のいい授業だったと思います。指導過程の一人学びや話し合いでタブレットがよく使われていて、効果的な活用を模索されていることが分かりました。授業の中では個々の定着の部分があまりよく分かりませんでした。終末段階の振り返りや見届けでの復習予習にタブレットの活用が習慣化していけばいいのかなと思うことでした。何と言ってもこの特別支援学級の指導の充実が目覚ましく、対象児童一人ひとりにしっかりと寄り添い良さを見つけ伸ばす、そういう教育がなされていたと思います。タブレットもしっかり使いこなしていることに感心したところでした。 11月2日は「かごしまの教育県民週間」で水之上小と垂水中央中を訪問した。水之上小は１・２年生が総合的な学習で「秋祭り」を体育館でやっていました。保護者やＰＴＡ役員、幼稚園児など多くの来場者が訪れ賑わっていました。児童の制作物を使ってゲームができるブースがいくつもあり、１・２年生がお客さんを上手にお世話していました。他の学年も見て回りましたが、どのクラスも保護者と思われる参観者が３～４人来ていて、父

	親もいたのでいいことだと思いました。授業は少しおとなしすぎるので、もっと児童の活動する姿があったらいいなと思ったところです。垂水中央中は３年生の英語の授業を見ました。英語の授業では生徒がグループになってお互いに英語で会話をしていましたが、できるだけ日本語を使わない授業でしたが３年生はできるんだと感心してみていました。２年生の国語の授業は、登場人物の心情を読み取り発表する場面でしたが、タブレットにまとめ、それを電子黒板に上げて、みんなで吟味し、いくつかに分かれて、再度先生が揺さぶり発問をして、またグループに分かれて、タブレットを持ち寄って話し合っていた。これこそタブレットの効果的な活用だなと感心して見ていました。水之上小も垂水中央中もインフルエンザによる学級閉鎖で空きの教室が多いと感じました。 　それにしても中学校は参観者が少ないと思いました。授業はいい授業をされているのにと思ったところでした。
葛迫委員	10月19日、出水市から土屋さんとおっしゃる60～70代の女性の方が和田香苗さんの作品大きさはＦ３号の油彩画を垂水市に寄贈したいとの連絡が入り、午前11時ごろ垂水市文化会館に伺いました。この日は教育長不在ということで教育委員会を代表して私と社会教育課長、文化スポーツ係の職員計５名で対応しました。この土屋さんは宮迫元助役の姪御さんにあたる方で垂水市に縁のある方ということでした。土屋さんは「この油彩画は、私の祖父が当時垂水に帰省されていた香苗氏から譲り受けたもので、その後に私の母が祖父から譲り受けた作品、その後に私の母が私に預けた作品です。今後のことを考えるとこの作品は垂水市に寄贈することが一番いいのでは」とお話されました。とりあえず、作品を観てみると、カーネーションが描かれています。少し油絵本来の艶が消失し描いてから長い時間が経った作品であることが分かりました。絵具の使い方や筆使いのタッチの跡を見てみると、兄である英作の技法にも劣ることなく、筆さばきの器用さが随分と見て取れ、そして、土台のしっかりした作品に描かれていると思ったところです。作品の裏を見てみると制作年と思われる「宮迫氏への贈呈」の年譜、和田香苗署名があることで、確かに香苗作品であると思われるところです。また、額縁の裏ぶたが無くほこりが入ったり、染みが付いたりと少し気になるところです。今後は作品や額縁の保護管理などを考え、作品調書などに記載しておく必要があるのではと考えています。
田之上委員	いろいろな行事や活動が戻り、この秋は多くの参観や参加の機会をいただきました。その中から次の３つについて報告します。 　まずは、垂水小学校へ学校訪問ですが、学校経営説明をお聞きし、学力向上に向けての取組、特色ある活動、いじめや不登校などへの対策や対応など、詳しく説明いただきました。特に教科担任制や算数専科の設置など、新たな取り組みもあり、どんな成果が出てくるのか期待しています。また、活発な授業の様子も参観させていただきました。大きな学校であり、にぎやかな交流活動や教え合いなどある一方で、どうしても全体に目が届いているかというような場面もありましたが、全体的には落ち着いた授業が行

	われているようでした。 県民週間ですが、垂水小学校と垂水中央中学校で学校運営協議会があり出席しました。両校ともに学力の定着や不登校が話題になり、学校から状況について説明がありました。また、中学校では読書離れが話題になりました。高校の校長先生からも読書活動の指導の工夫について質問もあり、各委員からも活発な意見がでました。 11月7日、垂水小学校の読書まつりでお話会をさせていただきました。コロナ禍で１・２年生のみ開催だったのが、今年は全学年実施になりました。低中高と２学年ずつに分かれて行いました。学年にあった絵本と楽しい時間になるように人形劇やペープサート、エブロンシアターなどを取り入れてあっという間の１時間でした。少しでも本を読んでみたいと思うきっかけになればいいなと思うことでした。 報告は以上ですが、先日、山形屋で火事がありました。その日のニュースの中で、ベテランのような職員の方が「訓練は何度もやりました。やってきていますが、いざ本番となるとやっぱり慌てました」というような感想を述べていました。これは本当に学校の現場でもいえることで、訓練と本番はやっぱり違うんだろうなと思いました。いざ本番の時に、子供たちがお利口に先生の言う通りに動くかどうかもわからない、泣いたり、動けなくなる子も出てくるということも十分に先生方には分かっていただいき、結局のところは訓練をして、重ねていくしかないのだと思いますが、やはりいろんな状況があるということを認識していかなければかないけないのかなと感じました。
福里委員	10月17日、垂水小学校の学校訪問に行かせてもらいました。クラスが多いので少しずつの時間での参観となりました。各クラス担任の先生のカラーが出ていて、低学年でも落ち着いているクラスもあれば高学年でもざわついていたり姿勢が整わないクラスもありました。娘は５年生なので教科担任制で担任の先生でない方が算数と社会を教えてもらっています。４年生までは社会の平均点がなかなか伸びない学年でしたが、今年は社会がクラスでも平均点が良いそうです。娘も社会が楽しいと言っているので、すごく良い方法だと思っています。算数に関してはテストが出来なかった子供達に対しては昼休みに補習授業を行ってくださっているので理解できるようになっているのでありがたいなと思いました。学校訪問で通級クラスの先生が子供達との約束で、①最後までじっくり丁寧に取り組むこと、②声は２～３の声で話すこと、③足をしっかりそろえて座ることでした。通級に通う子供達だけでなく全ての子供達にとっても大事なことだと思いました。声の大きさに関しては幼稚園でもそうですが、室内でも必要以上に大きな声で話をするので学校でも同じ傾向なんだなと感じました。娘たちは１月のテストに向けてよか問をよく解いているようです。取り組むにあたって、学年の先生方だけでなく校長先生も加わってくださっているようで、校長先生が出来た子に対してスタンプを押してくださったり、校長先生がユーモアのある描いた絵をプレゼントしてくださるそうで今日も娘は校長先生の絵をゲットするために頑張ると言って出かけて行きました。いろいろな先生が関わりを持ってくださり、また声をかけていただいていま

	すので、とても嬉しく思います。明日、中学校は合唱コンクール、小学校は持久走大会です。みんな頑張ってほしいと思います。
教育長	10月24日、陸上記録会は久しぶりにフルで開催できました。子供たちの躍動する姿、頑張る姿というのはいいですね。本当に大人も元気をもらえました。応援する姿もよかったなと思いました。その中で、水之上小学校のスムーズなバトンパスが綺麗で見事だと思いました。練習の成果が出せるのは素晴らしく、他の学校にぜひ見習って欲しいと思うような綺麗なバトンパスでした。教育委員会の職員も一生懸命に準備から後片付けまでしてくれて本当によかったなと思う１日でした。 ２点目です。10月31日、鹿児島大学で県内43市町村の教育長を代表して私が学生へ講話をしてまいりました。教育学部、理学部、農学部の教員を目指す学生たちへということで１時間の講話でした。講演の目的は２つあり、より教育現場を身近に感じて欲しいということと教員の魅力ややりがいを実感して欲しいということ。これを目的に学生たちへ話をしました。話の中心になるのはＧＩＧＡスクール構想ですが、教育総務課、社会教育課、国体推進課の特色ある事業を紹介しながら、本市の子供たちがすくすくと成長していることを伝えました。大学の教員にも私のかつての仲間の方もおり「学生たちにもう本当に届く具体的な話だった。こういう話が聞きたかった。毎年来て欲しい。」というオーダーを受けました。そこで感じたのが学ぶ学生は本当に学ぶ。もう恐ろしいぐらい伸びてきます。ところが一方ではまだまだな学生もいました。そういうところも大学教育も含めて改善していく必要があると思うことでした。 ３点目は市役所職員の採用試験です。ようやく長年の懸案事項であった学芸員を採用できました。このことは長い間の懸案事項で学芸員がいる、いないで、国の支援の中身も違います。この学芸員を採用できたことが今後の本市の文化財行政の充実発展に必ず寄与するだろうと思います。それ以外に事務系は複数採用予定とのことですが、若い人たちが多く入ってくる時代になり、ベテランのノウハウ持った人たちはやがては去ることになりますが、持っておられるノウハウをぜひ中堅職員に引継をお願いします。 県民週間ですが、私もすべての学校を訪問しました。子供たちが生き生きと学ぶ姿。これいいですよね。そこにはやっぱりいい教師がいます。そして指導があります。だから子供たちは、いい学び方をするんです。これは一連の動きと思うところです。その中で少し気になったのが、鉛筆の握り方、あるいは姿勢、そういうところが気になりました。今後また指導していかなければならない中身です。 それから、市の文化祭、産業祭が11月４日に行われ、どちらも大変好評でした。私がショックを受けたのは、南蛮FLAGでした。南大隅町の小学生、中学生、高校生。この子らの創作ダンスやパフォーマンスが素晴らしいものでした。一番ボルテージが上がったのはこの子たちの場面だったかもしれません。本当に圧巻、圧倒されるような、それでかつ元気がもらえるような、そんなパフォーマンス演技でした。南大隅でできるので垂水もできないかなと思います。例えば、おもてなし隊を、組みかえて、そういうこともさせてみるのもいいのかもしれません。

	それから11月７日、福岡県川崎町の議員さん方が訪問されまして、本市のＧＩＧＡスクールについて勉強していかれました。本市の取り組みについて、私、課長、今村指導主事で報告及び質疑応答をしたところです。この川崎町は、かつて人口４万人を超えていたそうです。いわゆる炭鉱町です。当然のことながら人口減少は進み、今では15,000人位で本市と似たような状況です。４つの小学校から１つの中学校に集まってくるという形態も似ており、だからこそＧＩＧＡスクールというところに目をつけられたんでしょうね。同じような規模でどこか九州管内で先進地はないかというところで調べたところは、垂水だったということでした。結論から申し上げると、もう来てよかったと言われました。垂水のＧＩＧＡスクールは本当に芯がきちんとして、方向性とか考え方とか実践の中身がわかりやすかったとベタ褒めでした。今後視察が多くなるかもしれませんが、オープンにするのはいいことだと思います。逆に学ぶことも多いわけです。他のところの市町の取り組みも聞けます。これからも学校も含めて、教育委員会も、常にオープンにしたいなと思っています。 最後に配った資料ですが、文科省のデジタルプロジェクトチームリーダー、ＧＩＧＡスクールをまとめている方だと思ってください。その方がこれからどういう時代になっていく、だからＧＩＧＡが必要ということを述べておられます。資料には具体例が写真で載っています。例えば去年行った愛知県の春日井市。非常に先進地です。そういう事例も載っていますし、新潟市も先進地として載っています。事例を見るといろんな使い方があるんだと思いました。これをまた、校長、教頭と共有しながら、学校でもこの好事例を使って欲しいなと思っているところです。ぜひ、ご一読いただければと思います。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長	10 月 13 日から 11 月 10 日までの主な行事等について各課長が報告。 併せて、11 月 11 日から 12 月 11 日までの行事予定についてお知らせした。
６　閉　会	